

1 学校運営の中期目標

現状と課題

【子どもが安心して成長できる安全な社会(学校園・家庭・地域)の実現】

豊かな心を養うため、道徳において教科書を活用した授業の実践を年間計画に沿って行ったり、音楽家の方に来校していただき、音楽鑑賞を行ったりすることができた。また、お互いのよさを認め、支え合う集団を育成するために「ソーシャルスキルトレーニング」を全学年で行い、自尊感情を高めることができた。

「いじめ」問題に関しては、年数回のアンケートを実施し、早期の発見に努め、いじめの解消に繋がった。また、校内アンケートにおいても、児童・保護者とも「友だちや仲間を大切にして、仲よくすごしている」の項目に約 97%以上が肯定的な回答をしている。また、月 1 回の生活指導部会や年 2 回の児童交流会を行い、情報の共有化を図った。その状況によっては、外部機関とも連携しながら、問題対応に当たっている。暴力行為や不登校といった他の問題行動についても、家庭とも連携しながら取り組みを進め、解決を目指した。

安全な学校生活を送るために、月 1 回の安全点検を実施し、毎日の登下校の見守りを地域とも連携しながら取り組んでいる。また、防災・減災の取組として、避難訓練を行うとともに、専門機関や地域とも連携した取り組みを進めてきている。交通安全や校区の危険箇所については大正警察や区役所とも連携して取り組みを進めた。保護者アンケートの「安全生活」に関する項目の肯定的な意見が約 97%となり目標を達成することができた。「安全意識」をさらに高めるために今後も引き続き取り組みを進め、定着を図っていく。

【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】

習熟度別少人数学習や「宿題サポート」を計画的に行うことで、基礎基本の定着に成果が見られた。また、自分で答え合わせまでできる全学年対象の算数プリント「かずみちゃん」の活用により自分に合ったペースで学習を進めることができるため、意欲的に取り組む児童が増えてきている。

「家庭学習の手引き」を配布するとともに、懇談会等で保護者に繰り返し啓発を行うことで、家庭学習の時間を問うアンケートでは 80%をこえる児童が、学年で決まった時間以上に学習をしたと回答した。また、学力向上支援センターが配置され、様々な場面で、児童が進んで学習できるように支援を受けることができた。

各教科を通して、自分の考えや思いを書く活動に取り組んだことで、自分の思いを表現できる児童が増えてきている。図書館の来館者数を増やすために図書館開放時間の周知・延長、図書館補助員による取り組み等により、来館者数が増えてきている。英語のモジュール学習を全学年で取り組むことで、外国語に興味関心を持つつある。英語の教科化に伴い授業の進め方について、全教職員で共通理解し、効果的な方法を探っていく必要がある。

ICTに関する研修を進めることで、授業が充実し、児童が意欲を持って取り組むことができるようになってきている。ただし、1人1台の学習者端末のさらなる活用について検討する必要がある。

全国体力・運動能力、運動習慣等調査では、全国の体力合計点の平均を男女ともに上回った。中泉尾版SASUKEや頑張りカードの活用、かけあし週間を工夫しながら行い、意欲を持って取り組めるようにした結果が出た形となった。

中期目標

【安全・安心な教育の推進】

- ・令和7年度末の校内調査において学校で認知したいじめについて、解消した割合95%を維持する。
- ・令和7年度末の校内調査において「学校へ行くのが楽しい」の肯定的答が90%を超えるようにする。
- ・令和7年度の全国学力・学習状況調査における「人の役に立つ人間になりたいですか」の項目について、肯定的に答える児童の割合を96%にする。
- ・令和7年度の全国学力・学習状況調査における「自分にはよいところがあると思いますか」の項目について、肯定的に答える児童の割合を80%にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- ・令和7年度の全国学力・学習状況調査における国語と算数の平均正答率の対全国比を1とする。
- ・令和7年度の全国体力・運動能力、運動習慣調査におけるすべての項目での対全国比を男女とも1を超えるようにする。
- ・令和7年度末の校内調査において「手洗い・うがいなどを通して、自分の体の健康に気をつけようとしている」の項目に対して、「そう思う」の回答が85%を超えるようにする。

【学びを支える教育環境の充実】

- ・令和7年度までに、授業等で学習用端末を毎日使用するようにする。
- ・令和7年度までに「学校園における働き方改革推進プラン」における教員の勤務時間に関する基準2を満たす教員の割合を95%とする。

2 中期目標の達成に向けた年度目標

【安全・安心な教育の推進】

- ・年度末の校内調査において「学校へ行くのが楽しい」に対して肯定的な回答をする児童の割合を90%以上にする。
- ・年度末の校内調査において「自分には良いところがある」と肯定的に回答をする児童の割合を85%以上とする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- ・年度末の校内調査において「学習したことがよくわかり、いろいろやってみようと思う」の項目で肯定的な回答する児童の割合が90%を超えるようにする。(R5 94.4%)
- ・年度末の校内調査において「体を動かして遊んだり運動したりするのが好きである」の項目で肯定的回答が90%を超えるようにする。

【学びを支える教育環境の充実】

- ・授業日において児童の8割以上が学習者端末を活用した日数が、年間授業日の50%以上にする。
- ・第2期「働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間の上限に関する基準1を満たす教職員の割合を64%以上にする。

3 本年度の自己評価結果の総括

大阪市立中泉尾小学校 令和 6 年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A : 目標を上回って達成した B : 目標どおりに達成した C : 取り組んだが目標を達成できなかった D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった	
年度目標	達成状況
<p>【最重要目標 1 安全・安心な教育の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年度末の校内調査において「学校へ行くのが楽しい」に対して肯定的な回答をする児童の割合を90%以上にする。 ・年度末の校内調査において「自分には良いところがある」と肯定的に回答をする児童の割合を85%以上とする。 	
<p>年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標</p> <p>取組内容① 【基本的な方向 1、安全・安心な教育環境の実現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活指導上の課題について共通理解し、いじめや問題行動、休みがちな児童の早期発見・早期解決に努める。 ・安全な学校生活を送ることができるよう、安全教育や防災・減災教育を推進していく。 <p>指標</p> <ol style="list-style-type: none"> 問題行動に対して中泉尾小学校安心・安全ルールを基に児童一人一人の状況を踏まえた指導を行い、家庭や関係諸機関とも連絡や連携を図る。 タブレットのスクールライフノートを活用し、児童の様子を把握しつつ、声をかけて学習や家庭環境の状態を考慮して休みがちな児童への改善を図る。 安全(防犯)に対する指導を専門機関とも連携して計画的に行い、自身の安全確保ができるようになるために必要な知識等を身につけさせる。 <p>取組内容② 【基本的な方向 2、豊かな心の育成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童の自己肯定感・自己有用間の改善に向けた、道徳教育・SSTの計画的な実践をしていく。 ・互いのよさを認め、支え合える集団を育成する。 ・美化活動の取組を進めることで、自ら進んで行動しようとする意識や態度を育てる。 <p>指標</p> <ol style="list-style-type: none"> 学級での学習や係活動、当番活動において、互いのよさを認め支え合える集団を育成する。 週1回の集会活動、全校児童集会における縦割り班活動を実施する。また、月1回の委員会活動や委員会常置活動、クラブ活動において積極的に協働できるようにする。 発達段階に応じたソーシャルスキルトレーニングを全学級で計画的に実施し、児童用アンケートの「友だちやなかまを大切にして、仲良くすごしている」において肯定的な回答について90%を維持する。 児童用アンケート「人の役に立つ大人になりたい」の項目において、肯定的回答を85%以上にする。 	進捗状況

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

次年度への改善点

大阪市立中泉尾小学校 令和6年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A : 目標を上回って達成した C : 取り組んだが目標を達成できなかつた	B : 目標どおりに達成した D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかつた
---	--

年度目標	達成状況
<p>【最重要目標2 未来を切り拓く学力・体力の向上】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年度末の校内調査において「学習したことがよくわかり、いろいろやってみようと思う」の項目で肯定的な回答する児童の割合が90%を超えるようにする。 ・年度末の校内調査において「体を動かして遊んだり運動したりするのが好きである」の項目で肯定的回答が90%を超えるようにする。 	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容① 【基本的な方向4、誰一人取り残さない学力の向上】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・誰一人取り残さない学力の向上に向け、個に応じたきめ細かで継続した指導・支援を充実する。 ・文章を読む・書く学習を多く取り入れることにより、自分の考えを形成したり交流したりする力を育む。 <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> a. 「中いすタイム」「宿題サポート」では、それぞれの児童が系統的に学ぶことができ、それぞれの児童の進度に対応したものとなるように、取り組み方や学習教材を工夫する。 b. 基礎基本の定着を図るため、児童の理解度に合わせて、休み時間や放課後などに随時補習を行うとともに、長期休業中に全学年で補充的学習会を実施する。 c. 小学校学力経年調査における正答率が市平均の7割に満たない児童の割合を同一の母集団で比較し、いずれの学年も前年度より1ポイント減少させる。 d. 令和6年度に実施する学校教育活動の児童用アンケートにおける「家に帰ってから毎日（各学年の目安の時間、学年×10分）分以上学習している」で肯定的回答の割合を昨年度より増加させる。 e. 全ての教科で自分の考えや思いを書く活動やワークシートの記述に取り組む。 f. 意見交流を活発に行えるよう、ペア・グループなどの少人数での活動を設ける。 	
<p>取組内容② 【基本的な方向5、健やかな体の育成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童一人一人の状況を把握しながら学校における体力向上に向けた取組の推進を図る。 ・児童の規則正しい生活習慣や食生活が身に付くよう、子どもの発達段階に応じた指導を実施する。 <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> a. 固定遊具を使って全学年で取り組むことができる活動の参加率（1種目でも参加した人の数）を60%を達成する。記録会や広報を行うことで目標を持って楽しく体力づくりができるようにする。 	

- b. 令和6年度に実施する学校教育活動の児童用アンケートにおける「体を動かして遊んだり、運動したりするのが好きである」の項目で肯定的回答が90%を超えるようとする。
- c. 児童の規則正しい生活習慣が身に付くよう、子どもの発達段階に応じた指導を実施し、自分の体や健康に対する意識を高める。
- d. 学校教育活動の児童用アンケートにおける「てあらい・うがいなどを通して自分の体の健康に気をつけようとしている」の項目で肯定的な回答が95%を超えるようとする。
- e. 食に関する指導を実施し、望ましい食生活を実践しようとする意識を高める。
- f. 学校教育活動の児童用アンケートにおける「給食などで苦手な食べ物も頑張って食べようとしている」の項目において、「そう思う」と答える割合を80%以上にする。

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

次年度への改善点

大阪市立中泉尾小学校 令和6年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A : 目標を上回って達成した	B : 目標どおりに達成した
C : 取り組んだが目標を達成できなかつた	D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかつた

年度目標	達成状況
<p>【最重要目標3 学びを支える教育環境の充実】</p> <ul style="list-style-type: none"> 授業日において児童の8割以上が学習者端末を活用した日数が、年間授業日の50%以上にする。 第2期「働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間の上限に関する基準1を満たす教職員の割合を64%以上にする。 	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向6、教育DXの推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> 児童用端末を活用することにより個別最適な学びを実施する。 児童の心の状況を可視化し、いじめや登校しにくい児童などの早期発見・迅速な対応をする。 <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> a)年間指導計画に沿って、各授業で児童用端末の活用を図る。 b)毎日児童用端末を起動させ、「心の天気」の入力を定着させる。 	
<p>取組内容②【基本的な方向7、人材の確保・育成としなやかな組織づくり】</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校園における「働き方改革推進プラン」に基づく取り組みを推進する。 <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> a)ゆとりの日を週に一回設定・実施する。 b)組織全体に計画的な年休取得を促し、勤務時間の削減を図る。組織内の連携を適切に行うことで業務に支障が出ないようにし、安心して休める環境を整える。 	
<p>取組内容③【基本的な方向8、生涯学習の支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> すべての子どもがいきいきと読書を楽しむための取り組みを実施する。 <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> a)図書館の開館時間を確保する。児童会（月水金に各35分）学校司書（水9:00～16:00） b)学校司書や外部団体による読み聞かせなどを実施し読書への興味付けを行う。 c)児童会のイベントを実施する。 	
<p>取組内容④【基本的な方向9、家庭地域と連携・協同した教育の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校・地域・家庭の連携による様々な取り組みなどの一層の推進を図る。 <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> a)保護者・地域の興味関心を高めるためHPを通じて学校からの情報発信を週6回程度（年間210回）行う。 b)緊急連絡を保護者に届けるため、一斉メール登録者の割合を88%よりも上げる。 	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

次年度への改善点

留意事項

提出するときは、様式2とします。 (様式例2)

※太枠は、年度当初に「運営に関する計画」として記述する部分
※それ以外は、年度末(中間)に学校園の「自己評価」として記述する部分

大阪市立〇〇小学校 令和〇〇年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A：目標を上回って達成した B：目標どおりに達成した
C：取り組んだが目標を達成できなかった D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標		目標の達成状況を4段階で総合的に評価します。 中間評価では、評価できる場合のみ、評価します。	達成状況
【3つの最重要目標】 ○		・総括シートの「年度目標」を転記してください。 ・関連する複数の年度目標をまとめて記載してもさしつかえありません。	B

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標		進捗状況
指標	取組内容①【 ・年度目標の達成に向け、当該年度で「何に、どのように取り組むのか」を記述します。 ・取組内容欄に、教育振興基本計画の「基本的な方向」に示す番号と名称を記入します。 ・取組は重点的に取り組むものから記述し、優先順位がわかるようにします。	A
	取組内容②【 ・この取組は当該年度で「どれだけ取り組むのか」について記述します。 ・「どれだけ」は、回数や頻度、人数など具体的に記述します。	
	実施計画や年間計画どおり等と記述する場合は、必ずその実施計画や年間計画等を添付すること。	取組ごとの進捗状況を4段階でそれぞれ評価します。 中間評価では、評価できる取組内容のみ、評価します。
	【年度目標】について ○ 【取組】について ①	・まず、年度目標の達成状況を数値などにより具体的に記述します。 ・次に、取組の進捗状況を具体的に記述し、取組の成果や実施上の課題などについて記述します。

次年度への改善点	
【目標設定】について ○	・まず、年度目標のうち未達成のものについて、次年度はどのように取り組むのか記述します。 ・次に、課題のあった取組ごとに、課題に対する改善点や方策を記述します。

※シートが1枚に収まらないときは、複数枚になつてもさしつかえありません。

(様式例 3)

令和 年度 学校関係者評価報告書

大阪市立 (学校園名) 学校協議会

1 総括についての評価

--

2 年度目標ごとの評価

年度目標 :
年度目標 :
• • • •

3 今後の学校園の運営についての意見

--

留意事項

提出するときは、様式3とします。 (様式例3)

令和 年度 学校関係者評価報告書

大阪市立 ○○小学校 学校協議会

1 総括についての評価

総括シートの「本年度の自己評価結果の総括」が妥当かどうかや、その内容に対する学校協議会の意見などを記述します。

2 年度目標ごとの評価

年度目標：

- ①
- ②

○

目標別シートごとに、「達成状況」や「進捗状況」の評価が妥当かどうかや、「結果と分析」欄や「次年度への改善点」欄の内容に対する学校協議会の意見を記述します。

年度目標：

⋮

3 今後の学校運営についての意見

○

次年度以降の学校運営はどうあるべきかなど、今後の学校運営全般に対する学校協議会の意見を記述します。

※シートが1枚に収まらないときは、複数枚になつてもさしつかえありません。